

令和 8（2026）年 3 月 1 8 日

令和 7（2025）年度介護・福祉若手職員交流会について

1 開催目的

事業所の垣根を超えた交流により、職員のモチベーションを高める。また、悩みを共有し、解決策を考え、互いを尊重して支え合う仲間づくりを推進する。

2 事業概要

- (1) 開催日時 令和 7（2025）年 1 月 1 9 日（水） 午後 3 時から 5 時まで
- (2) 対象者 市内介護・障害福祉事業所に勤務する若手職員 3 0 名程度（4 0 歳未満）
- (3) 会場 ハコニワ 共有スペース（柏崎市大字横山 4 4 0 番地 1）
- (4) 運営 柏崎市福祉保健部介護高齢課、福祉課
柏崎地区福祉施設協議会

3 実施内容

(1) 講師

K i t c h e n 1 0 5 オーナーシェフ 西村 遼平氏

(2) テーマ「自分らしい働き方のヒントを見つける」

若手職員が自身の人生を主体的に捉え、自分らしい働き方と向き合う機会となるように、講師による講話及び個人ワークやペアワークを実施。

4 参加者数

2 6 名（2 0 代 1 1 名、3 0 代 1 2 名、4 0 代 1 名、不明 2 名）

	事業所数	男性	女性	合計
介護	1 3 事業所	1 1 名	8 名	1 9 名
障がい福祉	4 事業所	1 名	4 名	5 名
援護	1 事業所	2 名	—	2 名
合計	1 8 事業所	1 4 名	1 2 名	2 6 名

5 当日の様子



6 アンケート結果（一部抜粋）

参加者からは、講話内容やワーク、交流の場を通じて多くの気づきや学びが得られたとの意見が寄せられた。講師による経験談や、地域への思いを込めたエピソードは特に印象深く、M V V（ミッション・ビジョン・バリュー）を軸とした考え方や、仕事と人生・幸福とのつながりに関する話題は理解しやすく、大変参考になったとの声が多かった。

また、講師の話を通じて、自身の働き方や人生観を見つめ直すきっかけになったとの意見が多く、特にM V Vや目標設定の重要性に気づき、今後の実践に生かしたいとする前向きな感想が多く寄せられた。

7 課題と今後の展望

福祉・介護業界とは異なる業界で活躍する講師を招き交流会を開催したことで、参加者にとって本研修は、仕事観や人生観を見直し、今後の行動につながる学びの多い機会となった。中でも、日々の行動の重要性に触れた内容が参加者の意識に強く残っており、自身の行動を見直す契機になったことが伺える。

講話形式と交流会形式それぞれの効果を見極めながら、本交流会が若手職員のさらなる成長と仲間づくりにつながる場となるよう取り組んでいきたい。